
環境と土壌—土壌環境問題の基礎知識—

大阪人間科学大学非常勤講師 福永 勲

土壌汚染に関わる法律「土壌汚染対策法」が平成15年2月15日に施行されて、早くも7年あまりが経過した。その間、土壌的にも持続的発展が可能な社会の構築に取り組まれてきた。すなわち、次世代社会の人々、我々の子ども、孫、ひ孫が、健全、健康に暮らすために、土壌汚染のリスク軽減に取り組まれてきた。もっと卑近に言えば事件や係争も発生して、そのたびに具体的な土壌汚染リスクは、何処にあり、どのような処理処分をすれば、その健康リスクは無くなるのか、あるいは安全・安心なレベルになるのか、その判定方法は、などが問題となってきた。折よく「環境技術」誌6月号でも、土壌汚染について、「改正土壌汚染対策法と技術・社会的諸問題」と題して特集されている。また、本講座のメインテーマは、「2030年！チェンジとスローライフ」であるが、そのため土壌汚染の基礎的な課題を環境問題の一環として再度復習しながら、表題の課題を果たしたい。

1. はじめに

- ・日本における環境の法体系
- ・我が国における環境問題と土壌汚染事件の歴史
- ・環境基準や土壌環境基準等の変遷
- ・地球環境の土壌
- ・土壌地下水汚染と健康影響の機構
- ・土壌汚染対策法の概要
- ・土壌調査方法

2. 土壌汚染の現状

- ・環境省調査結果から
- ・土壌汚染対策法で定められている土壌汚染対策と汚染土壌の処理方法
 - a. 直接摂取によるリスク低減措置
 - b. 地下水等の摂取によるリスク低減措置

3. 汚染土壌対策の事例

4. 今後の課題

5. まとめ